



地元の方々と直接やりとりが
できるのは、自治体職員の魅力です。

土木技術職 令和 元年度～ 土木課

橋本 毬子 (はしもと まりこ)

現在の所属の業務内容について教えてください。

土木課では主に、道路の新設及び改良工事、橋梁などの長寿命化対策を行っています。倉敷市は全国で2番目に多くの橋梁を管理していますが、定期的な点検業務や補修工事を行うことにより、より長く健全に使えるようにしています。また、平成30年度豪雨のような災害が発生した場合には、復旧工事を行っています。そうした業務において、工事の設計・施工監理を私は行っています。

職種としての業務内容の詳細を教えてください。

道路工事にあたっては、地元の方々と話をしながら、調査や測量を行い、具体的な道路計画を作成しています。この過程のなかで、計画に相違や問題がないか十分に確認することを心がけています。工事が始まってからも、完成に向けて地元の方々と施工業者と調整を行います。

倉敷市職員としてのやりがいを教えてください。

調査や測量、計画などの多くの過程を経て、工事が無事に完了した際には達成感があります。また、広がった道路に対して、地元の方々から「通行しやすくなった」などのお声が聞けた際にやりがいを感じられるのは、自治体の職員としての魅力だと思います。



転職の理由を教えてください。

転職者

前職は、建設コンサルタントで橋梁の設計をしていました。設計をするなかで、工事を行う背景や工事後の効果など事業全体に興味を持つようになり、直接そのプロセスに関わってみたいと思い、公務員を志望しました。また、ライフイベントを迎えても、働き続けられることを希望していたため、女性の土木技術職員が多いことも魅力的でした。

前職とのギャップで戸惑うことはありますか？



戸惑うことは特にありませんでしたが、民間企業へ勤めていたときは、市民の方々と関わるのがなかったため、電話や窓口での対応は慣れるまでに時間がかかりました。問い合わせ内容が土木課の担当ではなく、適切な課へ案内しなければならぬときもあり、今でも上司に助けていただくことがあります。

就職活動中の皆さんにメッセージをお願いします。

私は、民間企業からの転職で公務員を選びました。土木技術者として働きたい、家庭も大事にしたいという思いを軸に選んだ道です。自分のワークライフバランスを考えて就職活動を行うのも一つの方法かもしれません。職員のなかにも、メリハリをつけて公私ともに充実されている方が多いです。倉敷市職員の一員となって、共に働ける日を楽しみにしています。